2026年12月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月13日

上場会社名　　株式会社イーエムシステムズ　　上場取引所　東
コード番号　　4820　　ＵＲＬ　https://emsystems.co.jp
代表者　　（役職名）代表取締役社長執行役員　　（氏名）國光　宏昌
問合せ先責任者　（役職名）上席執行役員 経営戦略本部長　（氏名）小林　大悟　ＴＥＬ　06-6397-1888

配当支払開始予定日　　－
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2026年12月期第３四半期の連結業績（2026年１月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第３四半期	15,573	△14.0	1,587	△52.8	2,134	△44.1	1,722	△28.3
2025年12月期第３四半期	18,114	2.0	3,363	5.0	3,818	2.8	2,402	59.0

（注）包括利益　2026年12月期第３四半期　1,482百万円（△40.2%）　2025年12月期第３四半期　2,477百万円（69.5%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第３四半期	24.88	24.80
2025年12月期第３四半期	34.72	34.61

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年12月期第３四半期	26,485	20,078	75.4	288.43
2025年12月期	27,506	20,432	73.9	293.77

（参考）自己資本　2026年12月期第３四半期　19,979百万円　2025年12月期　20,334百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	－	17.00	－	22.00	39.00
2026年12月期	－	5.00	－		
2026年12月期（予想）				18.00	23.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．2026年12月期の連結業績予想（2026年１月１日～2026年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,233	△10.2	2,238	△39.1	2,963	△31.3	1,485	△39.4	21.46

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有
　　新規　1社　（社名）株式会社コンダクト、　除外　－社　（社名）－

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有
　　（注）詳細は、添付資料Ｐ．９「２．四半期連結財務諸表及び主な注記（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）」をご覧ください。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
　①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無
　②　①以外の会計方針の変更　：無
　③　会計上の見積りの変更　：無
　④　修正再表示　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期３Ｑ	70,514,800株	2025年12月期	70,514,800株
②　期末自己株式数	2026年12月期３Ｑ	1,244,395株	2025年12月期	1,293,794株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2026年12月期３Ｑ	69,248,449株	2025年12月期３Ｑ	69,182,295株

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項
　（将来に関する記述等についてのご注意）
　本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当四半期の経営成績の概況 …… 2
（２）当四半期の財政状態の概況 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書 …… 6
四半期連結包括利益計算書 …… 6
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 7
（継続企業の前提に関する注記） …… 7
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 7
（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 7
（セグメント情報等の注記） …… 8
（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記） …… 9

１．経営成績等の概況

（１）当四半期の経営成績の概況

当第３四半期連結累計期間における当社グループの主要取引先である医療業界におきましては、「医療DX令和ビジョン2030」等に基づいた医療DXの社会実装が加速しております。効率化や適正化を通じた医療保険制度の安定性・持続可能性向上が喫緊の課題となっており、経営基盤の強化を目的としたシステム投資の重要性が一段と高まっております。

このような環境下、当社グループにおきましては、質の高い医療の実現に向け、医療DXやイノベーション推進等の取り組みを継続してまいりました。当第３四半期連結累計期間においては、過年度にわたり収益を牽引したオンライン資格確認システムや電子処方箋の導入が一巡しましたが、各種報酬改定の対応や生成AIをはじめとする先端技術を活用した新たな付加価値サービスの開発・提供を推進してまいりました。加えて、医療機関等のセキュリティ対策への関心が高まる中、当社グループにおいても製品・サービスのセキュリティ強化を進めており、今後も継続的な投資を行ってまいります。

また、当社グループの各セグメント事業におきましては、「中期経営計画FY2025～FY2027」の達成に向け、カンパニー制の導入による組織再編を実施し、各セグメントにおける意思決定の迅速化と、顧客ニーズに即応した最適なサービスの提供体制を構築しました。加えて、コールセンターへのAIツール導入や、オンラインを活用した効率的なシステム操作講習の実施、社内業務へのAI活用を推進し、サービス品質の向上と業務効率化による収益構造の強化を図っております。当第３四半期連結累計期間においては、５月以降に調剤セグメントにおいて全社横断の選抜メンバーによる専門活動体制を構築したことで、厚生行政関連オプションソフト等の導入設置獲得が進み、需要剥落の影響を一定程度リカバリする成果を上げました。しかしながら、前年度に活発であった厚生行政関連需要の一巡に伴う反動減や、将来の収益基盤拡大に向けた営業戦略の転換等の影響を受けたことにより、売上高及び営業利益は前年同期を下回る結果となりました。一方で、投資有価証券売却益を特別利益に計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純利益の減少幅は改善しております。

この結果、当第３四半期連結累計期間の経営成績は、売上高15,573百万円（前年同期比14.0％減）、営業利益1,587百万円（同52.8％減）、経常利益2,134百万円（同44.1％減）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,722百万円（同28.3％減）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

（調剤システム事業）

調剤システム事業につきましては、全社横断の専門活動体制の構築により、厚生行政関連オプションソフトの導入設置獲得を着実に推進しました。一方で、前年度における集中需要が一巡したことに加えて、営業リソースを新規他社獲得及び付加価値商材へ重点配分し、既存顧客のリプレイス促進を抑制したこと等から、売上高及び営業利益は減少しました。

この結果、当第３四半期連結累計期間の調剤システム事業は、売上高12,289百万円（前年同期比16.5％減）、営業利益1,998百万円（同41.5％減）となりました。

（医科システム事業）

医科システム事業につきましては、前年度に活発であった電子処方箋の集中需要が一巡したことに加え、既存顧客のリプレイス促進から新規他社獲得へのシフトを優先したこともあり、売上高は減少するとともに利益面でも損失を計上しました。一方で、組織体制の再構築やデジタルマーケティングを活用した戦略的アプローチの推進により、「MAPs for CLINIC」の導入に伴う課金お客様数は着実に増加しており、課金売上高は順調に推移しております。

この結果、当第３四半期連結累計期間の医科システム事業は、売上高1,902百万円（前年同期比15.7％減）、営業損失218百万円（前年同期営業利益168百万円）となりました。

（介護/福祉システム事業）

介護/福祉システム事業につきましては、「MAPs for NURSING CARE」へのリプレイスを促進した結果、移行期に伴う保守売上高の減少は見られたものの、収益構造の適正化に伴う価格体系の見直しに加え、株式会社コンダクトが損益計算書の連結対象となった影響等により課金売上高が大幅に増加したことで、売上高は増加しました。また、チェーン法人等における案件受注の進捗も寄与し、営業損失は縮小しました。

この結果、当第３四半期連結累計期間の介護/福祉システム事業は、売上高713百万円（前年同期比81.0％増）、営業損失235百万円（前年同期営業損失263百万円）となりました。

（その他の事業）

その他の事業につきましては、株式会社ユニケソフトウェアリサーチにおける経営資源の最適化に取り組んだこと

で売上高が減少したものの収益性は改善し、営業利益が増加しました。
　この結果、当第３四半期連結累計期間のその他の事業は、売上高782百万円（前年同期比6.8％減）、営業利益31百万円（同127.9％増）となりました。
（上記セグメント別の売上高及び営業利益（損失）は、セグメント間の内部取引消去前の金額であります。）

（２）当四半期の財政状態の概況
（資産）
　当第３四半期連結会計期間末における流動資産は12,589百万円となり、前連結会計年度末に比べ358百万円減少いたしました。これは主に、受取手形及び売掛金が396百万円減少したことによるものであります。固定資産は13,895百万円となり、前連結会計年度末に比べ662百万円減少いたしました。これは主に、のれんが105百万円増加したものの、投資有価証券が743百万円減少したことによるものであります。
　この結果、総資産は26,485百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,021百万円減少いたしました。
（負債）
　当第３四半期連結会計期間末における流動負債は4,959百万円となり、前連結会計年度末に比べ809百万円減少いたしました。これは主に、未払法人税等が538百万円増加したものの、１年内返済予定の長期借入金が574百万円、未払金が434百万円、その他が276百万円それぞれ減少したことによるものであります。固定負債は1,446百万円となり、前連結会計年度末に比べ142百万円増加いたしました。これは主に、長期借入金が109百万円、退職給付に係る負債が29百万円それぞれ増加したことによるものであります。
　この結果、負債合計は6,406百万円となり、前連結会計年度末に比べ667百万円減少いたしました。
（純資産）
　当第３四半期連結会計期間末における純資産は20,078百万円となり、前連結会計年度末に比べ353百万円減少いたしました。これは主に、その他有価証券評価差額金が282百万円、利益剰余金が146百万円それぞれ減少したことによるものであります。
　この結果、自己資本比率は75.4％(前連結会計年度末は73.9％)となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明
　2026年12月期通期の連結業績予想については、これまでの実績並びに最近の事業環境を踏まえ、業績が変動する見通しであることから通期の連結業績予想を変更いたしました。詳細については、本日（2026年11月13日）公表の「2026年12月期　通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2025年12月31日）	当第３四半期連結会計期間 （2026年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,847	7,530
受取手形及び売掛金	3,207	2,811
商品及び製品	455	707
その他	1,441	1,555
貸倒引当金	△4	△16
流動資産合計	12,948	12,589
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	572	624
土地	348	367
リース資産（純額）	2	1
建設仮勘定	9	6
その他（純額）	442	332
有形固定資産合計	1,376	1,333
無形固定資産		
ソフトウエア	749	721
ソフトウエア仮勘定	160	94
のれん	2,063	2,169
その他	1,047	1,159
無形固定資産合計	4,021	4,144
投資その他の資産		
投資有価証券	1,043	300
投資不動産（純額）	6,469	6,441
その他	1,660	1,689
貸倒引当金	△12	△13
投資その他の資産合計	9,160	8,418
固定資産合計	14,558	13,895
資産合計	27,506	26,485

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2025年12月31日）	当第３四半期連結会計期間 （2026年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,181	978
１年内返済予定の長期借入金	577	3
未払金	1,361	927
未払法人税等	128	666
賞与引当金	465	605
契約負債	816	816
その他	1,238	962
流動負債合計	5,769	4,959
固定負債		
長期借入金	5	114
退職給付に係る負債	132	161
長期預り保証金	814	819
その他	352	350
固定負債合計	1,304	1,446
負債合計	7,074	6,406
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,785	2,785
資本剰余金	2,502	2,509
利益剰余金	15,290	15,143
自己株式	△711	△683
株主資本合計	19,867	19,754
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	282	－
為替換算調整勘定	184	225
その他の包括利益累計額合計	467	225
新株予約権	55	55
非支配株主持分	41	43
純資産合計	20,432	20,078
負債純資産合計	27,506	26,485

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
売上高	18,114	15,573
売上原価	8,884	7,904
売上総利益	9,230	7,669
販売費及び一般管理費	5,867	6,082
営業利益	3,363	1,587
営業外収益		
受取利息	7	23
不動産賃貸収入	782	839
その他	13	28
営業外収益合計	803	890
営業外費用		
支払利息	4	3
不動産賃貸費用	339	333
その他	4	7
営業外費用合計	348	343
経常利益	3,818	2,134
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	－	833
特別利益合計	0	833
特別損失		
固定資産売却損	0	－
固定資産除却損	7	8
減損損失	301	254
特別損失合計	309	263
税金等調整前四半期純利益	3,509	2,704
法人税等	1,101	980
四半期純利益	2,407	1,724
非支配株主に帰属する四半期純利益	5	1
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,402	1,722

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
四半期純利益	2,407	1,724
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	104	△282
為替換算調整勘定	△34	40
その他の包括利益合計	70	△241
四半期包括利益	2,477	1,482
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,472	1,480
非支配株主に係る四半期包括利益	5	1

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第３四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第３四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
減価償却費	801百万円	617百万円
のれんの償却額	144百万円	205百万円

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自2025年１月１日 至2025年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額
	調剤システム事業	医科システム事業	介護／福祉システム事業	その他の事業	計		
売上高							
初期売上	7,411	1,441	63	－	8,915	－	8,915
課金売上	5,340	728	184	－	6,252	－	6,252
サプライ売上	1,513	41	－	－	1,554	－	1,554
保守売上	445	45	147	－	637	－	637
その他の事業売上	－	－	－	753	753	－	753
顧客との契約から生じる収益	14,710	2,256	394	753	18,114	－	18,114
外部顧客への売上高	14,710	2,256	394	753	18,114	－	18,114
セグメント間の内部売上高又は振替高	13	－	－	86	99	△99	－
計	14,723	2,256	394	839	18,214	△99	18,114
セグメント利益又は損失（△）（注）２	3,413	168	△263	13	3,331	31	3,363

（注）１．セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

２．セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

「医科システム事業」及び「介護/福祉システム事業」セグメントにおきまして、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第３四半期連結累計期間において「医科システム事業」192百万円、「介護/福祉システム事業」109百万円であります。

（のれんの金額の重要な変動）

「調剤システム事業」セグメントにおいて、株式会社プレカルの株式を取得し、同社を連結子会社化したことにより、当第３四半期連結会計期間にのれんが911百万円発生しています。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間（自2026年１月１日 至2026年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額
	調剤システム事業	医科システム事業	介護／福祉システム事業	その他の事業	計		
売上高							
初期売上	4,854	999	166	－	6,019	－	6,019
課金売上	5,601	819	451	－	6,871	－	6,871
サプライ売上	1,457	37	－	－	1,495	－	1,495
保守売上	360	46	96	－	503	－	503
その他の事業売上	－	－	－	683	683	－	683
顧客との契約から生じる収益	12,273	1,902	713	683	15,573	－	15,573
外部顧客への売上高	12,273	1,902	713	683	15,573	－	15,573
セグメント間の内部売上高又は振替高	16	－	－	98	114	△114	－
計	12,289	1,902	713	782	15,688	△114	15,573
セグメント利益又は損失（△）（注）２	1,998	△218	△235	31	1,574	12	1,587

（注）１．セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

２．セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

「医科システム事業」及び「介護/福祉システム事業」セグメントにおきまして、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第３四半期連結累計期間において「医科システム事業」115百万円、「介護/福祉システム事業」138百万円であります。

（のれんの金額の重要な変動）

「介護/福祉システム事業」セグメントにおいて、株式会社コンダクトの株式を取得し、同社を連結子会社化したことにより、当第１四半期連結会計期間にのれんが311百万円発生しています。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）

税金費用については、当第３四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。